第２回 辰野町地域公共交通協議会幹事会
議事録

●**日　時**：令和６年８月 26 日(月)　午前 9:00～午前 10:00

●**会　場**：辰野町役場　２階　大会議室

１.開　会

三浦事務局長

● ただいまから第２回　辰野町地域公共交通協議会幹事会を開催いたします。

本日は、全体会の会議資料の事前説明をさせていただくための会議となります。

２.あいさつ

山田委員（副町長）

● 本日も辰野町地域公共交通協議会幹事会にご出席いただきまして誠に感謝申し上げます。

さて、６月に開催された長野県の地域公共交通活性化協議会では、県の公共交通計画が策定され、計画の中では、公共交通を維持するため２０２８年度の県内の公共交通利用者を、コロナ禍前の２０１９年度をおよそ１７０万人上回る１億人まで増やすことを目標にしています。

目標の達成に向けては、行政がより主体的に関与するとともに路線を効率的に再編し、持続可能な公共交通にしていく必要があるとのことです。

町としては、持続可能な公共交通の社会実装のイメージを描くためには、実証実験を繰り返すプロセスが必要だと考えており、今年度の 10 月に控える町営バス飯沼線の実証実験は、今後の施策方針にも影響する事業だと認識しております。

本日の幹事会では、今週末に開催する全体会で最終決定となる実証実験における運行ダイヤ・運賃などの運行方式（案）をご説明いたします。

幹事の皆様方におかれましては、様々な知見から忌憚のないご意見を頂戴したく存じます。本日はよろしくお願いいたします。

３.協議・報告事項

（１）町営バス飯沼線（自家用有償旅客運送）の運行方式について　　（資料１）

・資料１に沿って、事務局より説明

⇒一同承認

４．その他

⇒なし

５.閉会

三浦事務局長	● 本日は大変お忙しい中、慎重審議ありがとうございました。以上で第２回 辰野町地域公共交通協議会幹事会を閉会とさせていただきます。

第２回　辰野町地域公共交通協議会幹事会　次第

日　時：令和６年８月 26 日
午前９時 00 分～
場　所：辰野町役場　２階　大会議室（第６会議室）

１　開会

２　あいさつ

３　協議事項

（１）町営バス飯沼線（自家用有償旅客運送）の運行方式について　　（資料１）

（２）その他

４　その他

５　閉会

令和６年度　辰野町地域公共交通協議会幹事会

（任期２年）　　（敬称略）

所　　属	氏　　名	職　　名
道路管理者、長野県警察、その他交通協議会が必要と認めるもの	山田　勝己	副町長
住民又は利用者の代表者	小野　耕一	小野区長
〃	赤羽　八洲男	辰野町社会福祉協議会長
〃	赤羽　正臣	辰野町民生児童委員協議会副会長
〃	山田　弘司	辰野町シニアクラブ会長
〃	赤羽　弘江	辰野町女性団体連絡協議会長
町関係職員	竹村　智博	保健福祉課長
〃	熊谷　健司	建設水道課長
〃	小澤　靖一	学校支援課長
〃	三浦　秀治	まちづくり政策課長
〃	一ノ瀬　雄大	まちづくり政策課 まちづくり係長
〃	桑澤　健太朗	まちづくり政策課係員

任期：令和５年４月１日～令和７年３月31日まで

資料１

町営バス飯沼線（自家用有償旅客運送）の運行方式について

１． 実証運行の目的

町営バス飯沼線は主に車を運転できない高齢者の方や児童・生徒の皆さんの生活の足として地域の移動を担ってきた。一方で、令和６年３月に「辰野町地域公共交通計画」を策定し、地域に適した交通体系の構築や生活交通の維持等を掲げる中、町営バス飯沼線について近年の利用者数は大きく減少しており、鉄道（JR 中央本線）の減便による辰野町中心部までの移動利便性の低下や町営バス飯沼線のサービスと地域住民の移動ニーズが合致していないことが問題となっている。

このことから、利便性と効率性などを改善した新たな町営バス飯沼線の実証運行（デマンドバスの導入）を通じて、小野区の生活交通を将来にわたって維持・確保していくための検証を行うこととなった。

町営バス飯沼線の問題点
● 今年３月の JR 中央本線の減便により、町営バスと JR の接続が十分に確保されていない ● 辰野町中心部（まちなか）への直通便が火・木に限られるため、まちなかまで行きにくい ● アンケート調査（令和５年実施）で把握している地域の人がよく行く医療機関や買い物先まで今の町営バスでは行きにくい（両小野診療所は経由していない、まちなかのスーパーや辰野病院までは運行頻度が少ない） ● バス停から離れている場所にも住宅がある ● ９時～15 時台は１往復しか運行しておらず、移動できる時間帯が限られている

２． 小野区における実証運行の計画（見直し案）

(1) 運行概要

○ 需用の少ない日中の時間帯の運行は予約に応じて運行するデマンドバスに切り替える。

○ デマンドバスはバス停だけではなく、地域のごみステーション、まちなかの金融機関や湯にいくセンターからも乗降ができるようにし、時間帯によって行先を変えて運行する。

○ 通学などの利用が見込まれる朝夕の時間帯は現行の定時定路線のまま維持し、辰野町中心部まで運行する便数を増やす。

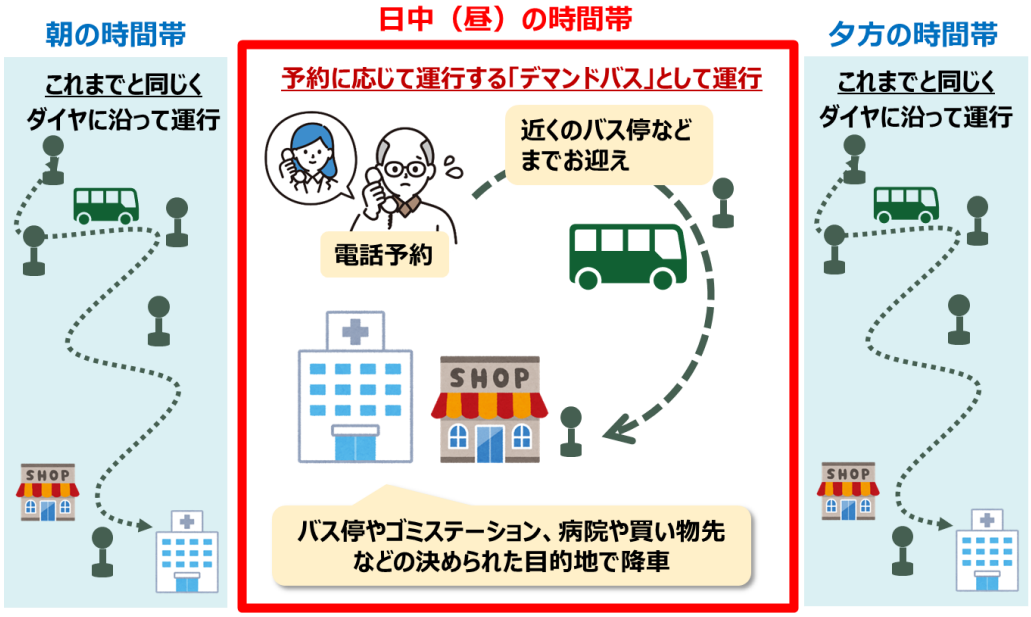

図　運行全体のイメージ

(2) 事業の種別

自家用有償旅客運送（区域運行）

(3) 運行主体

辰野町（辰野タクシー㈱に運行を委託）

(4) 対象地域（運送の区間）

辰野町小野区全域（長野県上伊那郡辰野町小野）

小野区～辰野町中心部（辰野町中心部は指定バス停のみの乗降）

(5) 実証運行（試験運行）の期間

令和 6 年 10 月～令和 7 年 2 月（およそ 5 ヶ月間程度）

※試験運行の経過を検証し、令和 7 年 2 月には経過状況及び今後の方針等を報告

※その後も継続的に検証を行い本格運行への意向や実証運行の延長等を判断

(6) 車両

既存の 10 人乗りワンボックスカー（ハイエース）、**事業者協力型自家用有償旅客運送を行うこと**で委託事業者である辰野タクシー㈱が、現在デマンド型乗合タクシー（一般旅客乗合有償運送の区域運行）の運行に使用している緑ナンバー車両を町営バス飯沼線の運行に今後活用する。

(7) 運行日

月～金曜日の平日のみ運行

（土・日曜・祝祭日・年末年始は運休）

(8) 運送しようとする旅客の範囲

地域住民及び観光旅客その他の当該地域を来訪する者

ただし、日中の時間帯（デマンドバスとして運行する便）に限り、事前の利用登録を行った小野区内に住所を有する者を対象とする。

(9) 運行区域

○ 朝夕の時間帯については、現在と同じ町営バス飯沼線の運行経路上でバス停に沿って、定時定路線の形態で運行する。

○ デマンドバス（予約制）で運行する日中の時間帯は、デマンドバス運行区域内のバス停及びごみステーションでの乗降が可能となり、予約に応じて小野区内や辰野町中心部（下図のバス停）まで運行する。

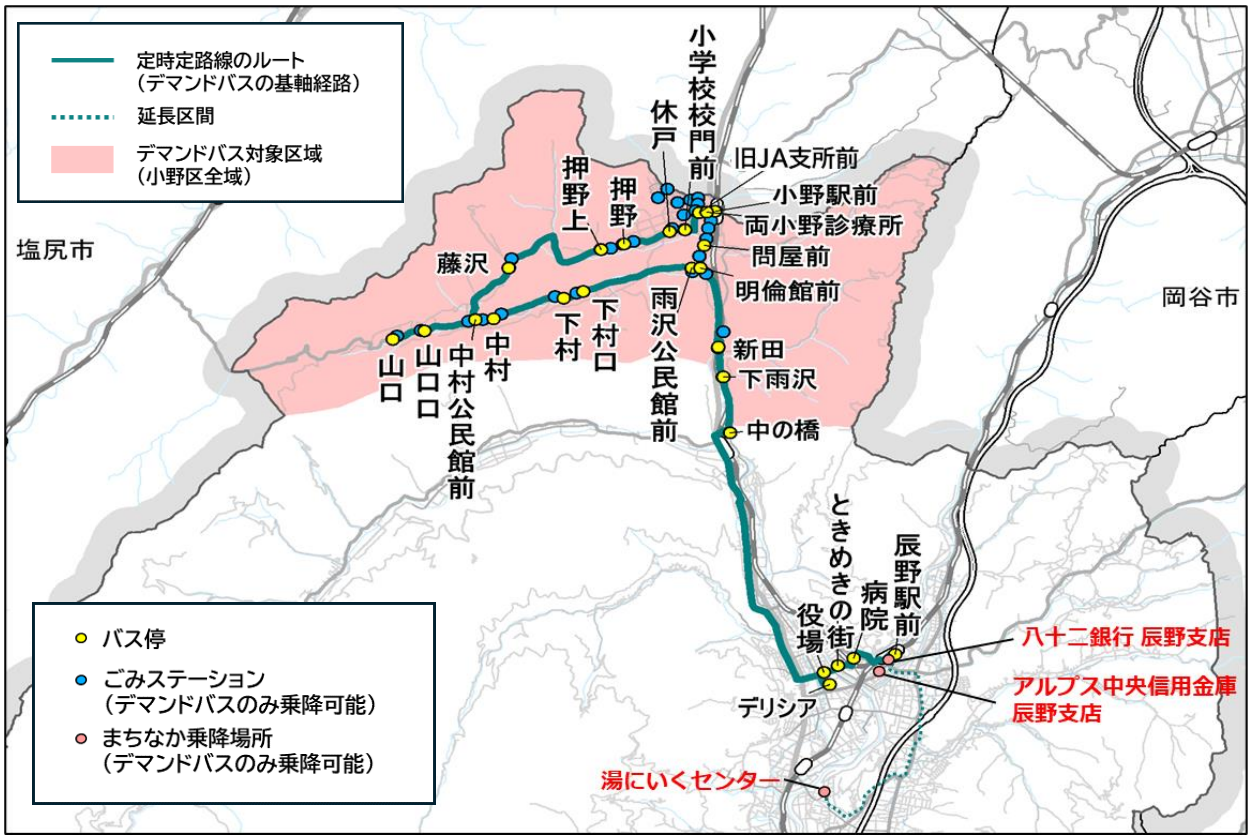

図　実証実験における町営バス飯沼線の運行区域図

表　運行時間帯ごとの運行形態・行先・乗降可能場所

運行時間帯	運行形態	行先・運行範囲	乗降可能場所
朝（6:45～8:40） 夕（15:26～17:48）	定時定路線	小野区～まちなか （運行ルート上）	・小野区内のバス停 ・まちなかの町が指定するバス停（デリシア、役場、ときめきの街、病院、辰野駅前）
日中（9:00～13:00）	デマンドバス（予約制）	小野区内 小野区～まちなか	・小野区内のバス停 ・小野区内のごみステーション ※一部のごみステーションを除く ・辰野駅 ・町立辰野病院 ・ときめきの街 ・辰野町役場 ・デリシア辰野店 ・湯にいくセンター ・アルプス中央信用金庫辰野支店 ・八十二銀行辰野支店

(10)　運行ダイヤ

①　定時定路線（朝夕）の運行ダイヤ

○　現在のダイヤを踏襲し、右回りと左回りの 2 系統で運行する。

○　JR 中央本線のダイヤ改正及び減便により、小野駅での乗り継ぎによって辰野駅方面まで鉄道で行くことのできない（帰ることのできない）時間帯においては、辰野駅（辰野町中心部のバス停）まで直通運行する。

○　地域住民のニーズに対応するため、「両小野診療所」と「小学校校門前」のバス停を新設し、いずれも敷地内への乗り入れを行う。（「小学校校門前」の新設により不要となった「小学校口」のバス停は廃止）

左回り時刻表（詳細版）

	停留所	1便	2便
	小野駅	6:45	7:28
	旧JA支所前	6:46	7:29
変更	小学校校門前	6:47	7:30
	休戸	6:48	7:31
	押野	6:50	7:33
	押野上	6:51	7:34
	藤沢	6:55	7:38
	中村公民館前	6:58	7:41
	山口口	7:00	7:43
	山口	7:01	7:44
	山口口	7:03	7:46
	中村公民館前	7:05	7:48
	中村	7:06	7:49
	下村	7:08	7:51
	下村口	7:09	7:52
	雨沢公民館前	7:12	7:55
	新田	7:16	7:59
	下雨沢	7:18	8:01
	中の橋	-	8:02
	下雨沢	-	8:07
	新田	7:20	8:09
	明倫館前	7:23	8:12
	問屋前	7:24	8:13
新設	両小野診療所	7:25	8:14
	小野駅	7:26	8:15
	旧JA支所前		8:16
	↓		↓
	デリシア前		8:36
	役場		8:37
	ときめきの街		8:38
	病院		8:39
	辰野駅前		8:40

右回り時刻表（詳細版）

	停留所	1便	2便
	辰野駅前	15:26	
	病院	15:27	
	ときめきの街	15:28	
	デリシア前	15:29	
	役場	15:30	
	↓	↓	
新設	小学校校門前	15:50	16:40
	旧JA支所前	15:51	16:41
	小野駅	15:52	16:42
新設	両小野診療所	15:53	16:43
	問屋前	15:54	16:44
	明倫館前	15:55	16:45
	新田	15:58	16:48
	下雨沢	16:00	16:50
	新田	16:02	16:52
	雨沢公民館前	16:06	16:56
	下村口	16:09	16:59
	下村	16:10	17:00
	中村	16:12	17:02
	中村公民館前	16:13	17:03
	山口口	16:15	17:05
	山口	16:16	17:06
	山口口	16:18	17:08
	中村公民館前	16:20	17:10
	藤沢	16:23	17:13
	押野上	16:27	17:17
	押野	16:28	17:18
	休戸	16:30	17:20
変更	小学校校門前	16:31	17:21
	旧JA支所前	16:32	17:22
	小野駅	16:33	17:23
新設	両小野診療所	16:34	17:24
	↓		↓
	デリシア前		17:44
	役場		17:45
	ときめきの街		17:46
	病院		17:47
	辰野駅前		17:48

図　定時定路線（朝夕）の運行ダイヤ

表　定時定路線（朝夕）と乗り換えができる鉄道（JR）のダイヤ

バスから鉄道への乗り換え	鉄道からバスへの乗り換え
● 小野駅→塩尻方面・8：00 発	● 辰野方面→小野駅・6：21 着
● 辰野駅→岡谷方面・8：55 発	● 塩尻方面→小野駅・16：12 着
● 辰野駅→伊那方面・8：56 発・18：08 発	● 伊那方面→辰野駅・15：01 着

② デマンドバスの運行ダイヤ（運行時間帯）

○ デマンドバスの運行時間は 9 時～13 時とし、時間帯によって行先（利用できる区間・範囲）を変えて運行する。

○ 運行時刻は以下を目安として、個々の利用者の出発時間・到着時間は当日の利用状況や目的地に応じて変化する。

○ 予約方法は電話予約を基本として、利用日当日午前の予約は前日 15 時まで、利用日当日午後の予約は当日 12 時までを締切とする。

表 デマンドバスの運行時間

行き・帰り	デマンドバスの運行時間	行先・運行範囲	予約方法・時間
行き	第 1 便 9:00 頃発～	小野区内 小野区→まちなか	利用する前日の 15 時までに 電話予約
	第 2 便 11:30 頃発～	小野区内 小野区→まちなか	利用する前日の 15 時までに 電話予約
帰り	第 1 便 10:30 頃発～	小野区内 まちなか→小野区	利用する前日の 15 時までに 電話予約
	第 2 便 13:00 頃発～	小野区内 まちなか→小野区	利用する当日の 12 時までに 電話予約

表 デマンドバスと乗り換えができる「すてっぷくん（塩尻市営バス）」のダイヤ

バスからすてっぷくんへの乗り換え	すてっぷくんからバスへの乗り換え
● 小野駅→塩尻方面・9：42 発	● 塩尻方面→小野駅・11：38 着

(11) 運賃

① 定時定路線の運賃

○ 最大 350 円の距離制運賃（現行の運賃から変化なし）

大人（中学生以上）：1 乗車あたり 100 円～350 円

3 歳以上～小学生、障がい者手帳保有者、運転免許証自主返納者：上記の半額

3 歳未満の幼児・乳児：無料

○ 定期券については従来通りの割引率を採用し、実証運行期間はデマンドバスでも使用できることとする

1 ヶ月料金　普通料金の 60 倍の 60%（学生：50%）

3 ヶ月料金　1 か月料金の 3 倍の 95%

6 ヶ月料金　1 カ月料金の 6 倍の 90%

② デマンドバスの運賃

○ 地域内での移動で 1 乗車 350 円、まちなかまでの移動を 1 乗車 600 円とする。

○ なお、（ア）と同じく、3 歳以上～小学生、障がい者手帳保有者、運転免許証自主返納者は半額を基準にして地域内での移動で 1 乗車 180 円、まちなかまでの移動を 300 円、3 歳未満の幼児・乳児は無料とする。

○ デマンド型乗合タクシーの乗り放題定期券（3,000 円/月）を基に、デマンドバス専用の 1 ヶ月の乗り放題チケットを 2,000 円/月で実証実験期間において試験的に販売する（朝夕の定時定路線では使用不可、日中のデマンドバスのみ使用可能）

○ 上記の販売結果や実績を踏まえて、本実証運行を通して地域に適した運賃体系を検討する

表　実証実験中における定期券の利用範囲

	利用できる範囲	
	定時定路線（朝夕）	デマンドバス（日中）
従来の定期券	使用可能（〇）	使用可能（〇）
デマンドバス 1 ヶ月の乗り放題チケット（月 2,000 円）	使用不可（×）	使用可能（〇）